

酒々井町

郷土研究会会報

第135号

平成22年1月1日
酒々井町郷土研究会
広報部

新しい年を迎えて

酒々井町郷土研究会

会長 岡田 利光

平成二十二年の新年を迎え、明けましておめでとうございます

昨年は酒々井町が町制施行一二〇周年にあたり郷土研は栄えある特別表彰を受賞いたしました。当会は一〇周年記念行事として小絵馬展を開催し、多数の方々に二世紀前の住民の素朴な願いである絵馬を間近に見て頂きました。

最近、女性を中心に仏像ブームだそう、私も薬師寺展に寄った時、三時間以上の行列だったことを思い出します。七割は女性でした。

よく仏像の前で対話され、時折涙しながら、お祈りしている姿を目にするのがありますが、それは人間が生きていく上で御仏が大切な「心の杖」だからだと思えます。

どんなに険しい坂道でも歩むのは自分の足であり、御仏と対峙することによって勇氣が湧き優しい気持ちになれるのでしよう。

さて本年も郷土の歴史・史跡の研究と継承を行うことを基本として、郷土

謹賀新年

庚寅 元旦



史講座・史談会・見学会・名勝探訪・野草観察などを切れ目なく実施して

参りますので、会員の皆様方には各行事に新会員をお誘いの上奮ってご参加くださるようお願い申し上げます。

会員の皆様が益々ご健勝でありますようお祈りいたします。

印相の魅力

高木 正浩

仏像は信仰の対象としてお寺の奥深くに治められていますが、博物館に展示されると身近に拜見できるのでとても嬉しいですね。

我々を見つめておられるお顔とともに手の形や指の仕草に深遠なものを感じます。

仏像の手の形や組み方を印相と云いますが、ある意味を表現するサインのようなものです。

施無畏(せむい)印は「恐れなくともよい」とわれわれの緊張を和らげて下さるかたち、与願印は願いを聞き入れて望むものを与えて下さるかたち、定印は深い瞑想に入って心の安定を表すかたちです。

どのような印相を結んでいるかによってその仏像が何方であるかわかることもあります。

阿弥陀如来像は、何れの場合も左右それぞれ親指と人差指をくっつけて輪を作っています。

薬師如来像は、与願印を示す手の上に薬壺が載っています。

智拳印は、大日如来像だけの印相で深い思索から行動に移る一瞬をとら

えたものと云われています。
 印相には多種多様のかたちがあります。仏像を拝観する時、その印相からわれわれにどのようなサインを送っておられるのか静かに考えてみたいと思います。



総会のご案内

郷土研究会の第三十四回定期総会を平成二十二年一月三十一日(日)午後一時三十分より中央公民館研修室において開催いたします。万障お繰り合わせのうえ、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

尾上方面

笹本 貞敏

九月十六日(水)早朝の雨が発時には晴天となり気持ち良い散策日和となった。総勢二四名、公民館前をスタートし横町の東光寺へ、本尊は胎蔵界大日如来様です。石造大日如来供養塔と庚申塔は町指定の貴重な文化財で、石像がきれいな形で保存されているのに感心しました。また酒々井町が発足した最初の町議会が東光寺の本堂で行われたと聞きびっくりしました。

下台の麻賀多神社、祭神は稚産巢日命の女神と云われています。拝殿の千木は外削ぎ・鯉木は五本であり疑問に思ったので調べてみたら、伊勢神宮の場合、ともに祭神が女神で

あるのにもかかわらず内宮では千木・鯉木が内削ぎ・十本、外宮は外削ぎ・九本とある。同様に、別宮では祭神の男女を問わず内宮別宮は内削ぎ・偶数の鯉木、外宮別宮は外削ぎ・奇数の鯉木とあり、この理由には諸説あり、外宮の祭神がもともと男神の性格を帯びたものではなかったとする議論もあるそうです。

総合公園にある小盛田古墳を経て、尾上の住吉神社へ。尾上の鎮守です。住吉神社は海路の守護神として漁業者や海上生活者に信仰されていたのが、どうして尾上の土地に祀られたかは不明だそうです。

境内には蚕神碑がある。昔、大千魃の時、この地は蚕業が盛んであったため生計が救われたと説明がありました。

双体道祖神は一般には縁結び、夫婦和合、子授けの神様として信仰されていて、村境や峠、辻などにあるのが普通であるが尾上の双体道祖神は個人の氏神として祀られているのは珍しいとのことである。

正福院は揚柳山観音寺という山

号・寺号を持ち、本尊は大日如来
だそうです。今は無住寺であるが、
本堂、仁王門、鐘樓堂があった大
きなお寺であったそうです。

十一時となり尾上青年館で昼食
となる。十一時四十五分ここで会
長より自由解散のご挨拶があり、
希望者のみ再び墨の分校跡へ散策
開始。

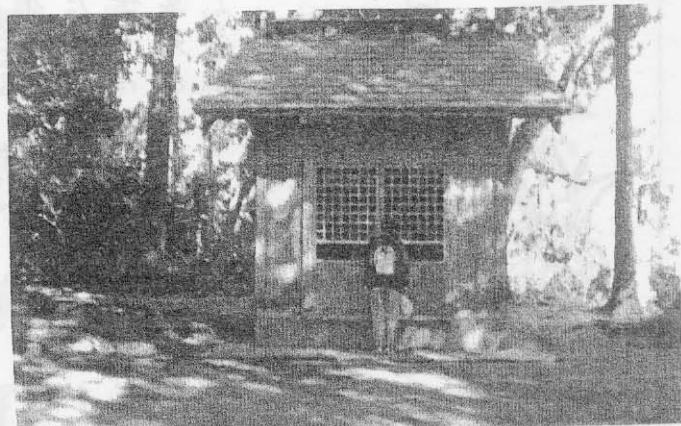
墨という変わった地名の由来
は、花の散りぎわに黛のように黒く
なる珍しい桜があったので、墨の地
名がついたということです。

字石井の坂の中段に泉光院があ
りました。真言宗文殊寺の下寺で、
妙見堂、庫裏、客殿のある寺院だっ
たとのこと。この境内には県内
に三箇所しか見つかっていない
珍しい御葉付き銀杏樹があります。

本日の町内史跡巡りはここが最
後となり一行は公民館へ向かう。

途中、墨交差点付近でこの近くに
法華塚または仕置塚といわれてい
た塚があったという興味深い話も
聞くことが出来ました。

今日は役員の懇切丁寧な説明に
より町の歴史の古さに触れ充実し
た一日となった思いです



住吉神社

十万石の城下町を訪ねる

石井 康子

十月二十六日朝から本降りの雨、
台風も近づき午後から雨風が強
くなるとのこと。足取りが重くなりま
した。定刻どおり出発。

最初に訪れた所は大多喜。地元の
ガイドさんがバスに乗り、雨のため
車中からの説明でした。夷隅川が取
り囲む城下町。町中は鍵型の道とな
り旅籠、国指定重要文化財の町家、
酒造元等、江戸時代からの建物が修
復されそのまま残っていて、大切に
保存するのが大変だと思いました。

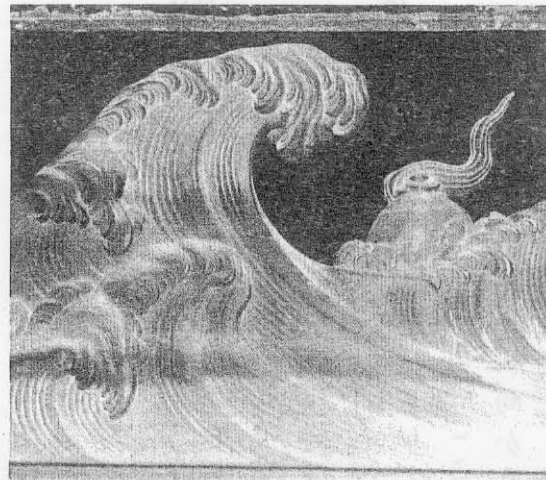
名物の最中を買い、道の駅で昼食
をいただきバスへ。外はますます雨
風が強くなり、バスから降りるのが
嫌なほどでした。

しかし次に訪れた所は、私を感激
させてくれた行元寺。参道を登りき
った所に朱塗りの大きな山門があ
り本堂へ。和尚さんが迎えてくれ説
明が始まりました。本堂の欄間に徳
川家御用を務めた彫刻界最高の名
工、高松又八の豪華絢爛な作品が彫
られ、これらは岩絵の具を使い漆や
金箔などをかみ合わせ優雅な彩色
で桃山文化の雰囲気を感じさせて
いました。



行元寺 山門

また別部屋には、江戸時代「波の伊八」と呼ばれた彫刻家の作品、欄間に波がまさに崩れんとするその一瞬を見事に表現していました。葛飾北斎は、この彫刻を参考にしたとのこと。



伊八の波図彫刻

和尚さんの熱弁で、外の天候のこなど忘れ、時の経つのも忘れ、すっかり作品の中に酔いしれました。人里離れた所に、こんな素晴らしい作品を抱えたお寺があったなど知りませんでした。

どこまでも続く田園風景、周りの里山が赤や黄に染まる頃もう一度訪ねてみたいと思いつつ、企画された方に充実した一日を感謝でした。

《観察メモ》

センブリ (リンドウ科)

全草にある強い苦みが千回振り出してもまだ苦いので「千振り」という名前が付いたと言われています。別名トウヤク(当薬)、クスリクサ、ヒヤクフリ、ニガクサと呼ばれている地方もあります。センブリの煎じ液には防虫や殺菌作用があり、障子を張る糊に混ぜると虫がつかないと言われています。

酒々井町にも四月頃から観察される草丈十五センチ位、白色のかわいい花の咲くのは十月に入ってからです。子供の頃センブリを刈るのを手伝ったという人も何人かいましたが草丈がもっとあったと記憶しているようです。



郷土研

トビックス!

★公民館主催「しすい学講座」では、昨年十一月、高木副会長が六カ月に亘って担当された講座が終了。我が町の歴史を、多方面から解り易く紐解いていただいた講話は、定員を超える受講生に大好評でした。永い間お疲れ様でした。

★野草部(犬島、大沢両氏)が、酒々井小学校四年生の児童達に「国語科公開研究会」の活動の一環として、「野草部」の設立動機や日頃の活動内容を説明し、町に在る植物の種類・名前などを教え、珍しい植物を紹介してあげたことに、子供たちから多くの感想文とお礼状が寄せられました。有難う。

★昨年(九月三十日)予定していた秋の野草観察会「馬橋・まがり家周辺」は、雨天のため中止しました。残念。あらためて・・・。
★史談会は、急激に受講者が増え、大盛況です。大部屋が必要になりそうです。面白いですよ。
本年からは年八回に増えます。

< 郷 土 研 日 誌 >

月 日	活 動 内 容	参加者
9. 27	会報印刷	5
9. 29	会報発送(第134号)	17
10. 7	日帰り見学会受付	4
10. 20	勉強会(本佐倉城跡探訪)	12
10. 24	「しすい学」講師派遣	1
10. 25	町制施行120周年記念行事「史跡 ウォーキング」にガイドとして参加	8
10. 26	日帰り見学会(大多喜方面)	36
10. 30	郷土研の紹介ボード作成・展示	3
11. 17	研修部部会 広報部部会(会報第135号)	5 5
11. 24	運営委員会(22年1~3月期行事)	18
11. 28	「しすい学」講師派遣	1
12. 1	名勝探訪(成東方面)・下見	3
12. 4	会報編集・打合せ、読合せ	5
12. 5	史談会(成田参詣記)	21
12. 8	会報編集・読合せ	5
12. 9	名勝探訪(成東方面)	30
12. 13	会報編集・読合せ、校正、割付	5
12. 15	臨時運営委員会(総会打合せ)	15
12. 18	会報編集・読合せ、校正、割付	5
12. 22	会報編集・最終校正	5

見学

案内

日帰り見学会



一月二十四日(月)

雨天決行

初詣・鎌倉方面

古都鎌倉のシンボルで、毎年初詣参拝者数が全国でも上位を占めるほど信仰のある鶴岡八幡宮に行きます。また台座している仏像では日本一大きな鎌倉大仏(高德院)にも行きたいと思えます。朝食後は自由散策となります。

名勝探訪

雨天代替日

三月九日(火)
三月十日(水)

大宮方面

ちよつと桜の開花には早い時期ですが、長い参道を歩いて武蔵の国の一の宮をゆっくり散策してきましょう。

あとがき

で駅近くの小町通りをゆっくり散策するのも良いし、横浜辺りに戻って中華街に寄るのも楽しいかもしれせん。一日ゆっくりフリーパスを活用してみてください。

酒々井小の児童達から野草部に寄せられたお礼状の数枚を読ませて頂いた。

氷川神社 関東

一円の信仰を集め武蔵の国の一の宮として二〇〇〇余年の歴史を誇る古社。盆栽村 盆栽栽培地として国内外に広く知られる盆栽村。この地が生まれたのは大正一四年。

「草の種類をいっぱい教えて頂きました」「いろんな植物を覚えました」「花の名前、種類や形が知れて良かった」「野草部の人は凄いなと思いました。何故なら、いつも植物の事を思っていると思いました。これからも頑張ってください」等々。大人の想い、願い(珍種や絶滅危惧種の保存等)をそのまま素直に受け止めてくれる子供たちの豊かな感受性に感動してしまいました。

我々郷土研の活動は、郷土の歴史・文化の研究と継承、そして会員相互間の親睦にあります。新年を迎えるに当り、子供達が受け入れてくれたような想いを会員各位にも味わって頂けるよう活動してゆかねばと心を引締めております。

一月には、鎌倉に初詣を予定しています。是非、新規会員をお誘いのうえ、ご参加ください。



郷土研行事案内

平成22年1月～3月

	1 月	2 月	3 月
史談会	休	6日(土) 13:30 中央公民館会議室 「成田参詣記」④ 講師：高橋健一先生	6日(土) 13:30 中央公民館会議室 「成田参詣記」⑤ 講師：高橋健一先生
日帰り 見学会	<p>「初詣で・鎌倉方面」 1月24日(日) 雨天決行 (当日の問合せ 6:30~6:50 寺本まで 参加費 100円 別途、交通費(ホリデーパス 2,300円、江ノ電)等 その他 鶴岡八幡宮を参拝し、ここで解散。その後、自由昼食とします。</p> <p>集合時刻・場所 7:30 JR酒々井駅・構内改札口前(階段上) コース JR酒々井駅—鎌倉駅—長谷駅…高德院(鎌倉大仏)…長谷駅—鎌倉駅…鶴岡八幡宮(解散) (場合によりコース変更あり)</p>		
野草の会	<p>「七草粥を食べる会」 2月10日(水) 会場 中央公民館講堂(受付 11:00 会食 11:30) 定員 70名 会費 800円</p> <p>申込受付 参加ご希望の方は、最寄りの運営委員にお申込み下さい。 なお、総会当日(1月31日)にも受付けます(於1階ロビー)。 ◎ 当日、お手伝いして下さる方は、9:00頃 中央公民館・調理室にお出で下さい。 * 問合せ 犬島まで</p>		
名勝探訪	<p>「大宮方面」 3月9日(火) 雨天代替日 3月10日(水) (当日の問合せ 7:00~7:30 岡田まで 参加費 100円 別途、交通費等 その他 弁当、飲み物、敷物等は各自ご持参下さい。</p> <p>集合時刻・場所 8:10 京成酒々井駅・構内改札口前(階段上) コース 京成酒々井駅—日暮里駅《乗換》JR日暮里駅—田端駅—大宮駅 …氷川神社(武蔵國一の宮)…大宮公園《昼食》…漫画館…盆栽村 …東武野田・大宮公園前駅(解散)—船橋駅《乗換》船橋駅—酒々井駅 (場合によりコース変更あり)</p>		
第34回 総会	<p>1月31日(日) 中央公民館研修室(2階) 受付は、1階ロビー 受付 13:00 開会 13:30 年会費 1,000円をご用意下さい。 《議題》 ・平成21年度事業報告・決算報告及び承認について ・平成22年度事業計画案及び予算案について ・その他</p>		